

## 第44回「地域の会」定例会資料

前回(1/10)以降の動き

### <公表関係>

#### ◎不適合事象関係

##### 【区分Ⅰ】

- ・ 1月12日 柏崎刈羽原子力発電所1号機屋外の取水電源室内(非管理区域)での火災について

##### 【区分Ⅱ】

- ・ 1月17日 柏崎刈羽原子力発電所5号機における原子炉再循環系配管等の点検状況について
- ・ 2月5日 柏崎刈羽原子力発電所6号機における制御棒駆動系(1本)の不具合について

##### 【区分Ⅲ】

- ・ 1月12日 5号機原子炉建屋付属棟(非管理区域)でのけが人の発生について
- ・ 1月22日 2号機原子炉建屋付属棟でのけが人の発生について
- ・ 1月22日 5号機原子炉建屋でのけが人の発生について

#### ◎定期検査関係

- ・ 1月11日 柏崎刈羽原子力発電所4号機の営業運転再開について
- ・ 1月11日 柏崎刈羽原子力発電所7号機の営業運転再開について

#### ◎その他発電所に係る情報

- ・ 1月23日 柏崎刈羽原子力発電所の累計発電電力量8,000億キロワット時の達成について
- ・ 1月31日 当社発電設備に関し、電気事業法及び核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づく検査に関するデータ処理における改ざんの有無についての報告の提出について
- ・ 1月31日 新潟県の温排水等漁業調査結果報告書および福島県の温排水調査報告書の点検結果について
- ・ 2月1日 当社発電設備に関する経済産業省からの指示について

### <参考>

当社原子力発電所の公表基準(平成15年11月策定)における不適合事象の公表区分について

区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象
区分Ⅱ	運転保守管理上重要な事象
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象
その他	上記以外の不適合事象

## <公表関係>

### ◎不適合事象関係

#### 【区分Ⅰ】

- ・ 1月12日 柏崎刈羽原子力発電所1号機屋外の取水電源室内（非管理区域）での火災について

午後7時42分頃、当所1号機において「取水設備電源故障」等の警報が発生したため、当直員が取水電源室（屋外、非管理区域）を監視用カメラにて確認したところ、室内に発煙が確認されたことから、午後7時56分に消防署へ通報いたしました。その後、発煙場所は室内の電源盤であることが確認され、消防署の現場確認により、午後8時20分までに鎮火が確認されました。現在、原因調査中です。

#### 【区分Ⅱ】

- ・ 1月17日 柏崎刈羽原子力発電所5号機における原子炉再循環系配管等の点検状況について

応力腐食割れ対策を実施する予定の原子炉再循環系配管等の65継手について、施工前の検査として超音波探傷検査を行っておりますが、1月17日までに6継手の検査を実施した結果、1継手の1箇所長さ約103mm、深さ約4.6mmのひびが確認されました。なお、残りの59継手については、引き続き応力腐食割れ対策施工前の超音波探傷検査を実施してまいります。今後、ひびが確認された同配管の継手については、健全性評価制度に基づいて評価いたします。

- ・ 2月5日 柏崎刈羽原子力発電所6号機における制御棒駆動系（1本）の不具合について

2月4日午後10時30分頃から運転中の定例試験（制御棒駆動系挿入、引抜き試験）を行っていたところ、1本の制御棒（全制御棒は205本）が動作しないことを確認いたしました。このため、同日午後11時4分、保安規定に定める「運転上の制限」からの逸脱を宣言いたしました。原因については現在調査中ですが、当該制御棒以外の全制御棒（204本）について挿入、引抜きが可能であることを確認したことから、プラントを安全に停止する機能は確保されており、プラントの安全上の問題はありません。

⇒調査の結果、原因は制御基板の一部の故障によるものと判明したため、当該基板を交換し、2月6日午前11時、「運転上の制限」を満足していることを確認いたしました。なお、当該制御棒については、挿入・引抜きの動作確認を行い、健全性を確認いたしました。〔2月6日 お知らせ済み（柏崎刈羽原子力発電所6号機における制御棒駆動系（1本）の不具合の復旧について）〕

### 【区分Ⅲ】

- 1月12日 5号機原子炉建屋付属棟（非管理区域）でのけが人の発生について  
〔1月11日午後4時10分頃、定期検査中の5号機原子炉建屋付属棟1階（非管理区域）において、原子炉冷却材再循環ポンプ用電源装置のモーターを分解していた協力企業の作業員が、当該モーターのカバーと軸受台のすきまに右手の指を挟んで負傷しました。診察の結果、右手人差し指に挫創と骨折が確認されました。〕
- 1月22日 2号機原子炉建屋付属棟でのけが人の発生について  
〔1月19日午後4時30分頃、2号機原子炉建屋付属棟地下2階において、協力企業の作業員が靴を履き替えようとした際に右足首をひねりましたが、当日はそのまま勤務して帰宅しました。翌日（20日）になって右足首部に痛みを感じ、病院で診察を受けたところ、右足首の捻挫と診断されております。〕
- 1月22日 5号機原子炉建屋でのけが人の発生について  
〔1月20日午前9時45分頃、定期検査中の5号機原子炉建屋地下3階において、原子炉冷却材浄化系の熱交換器の組立作業をしていた協力企業の作業員が、熱交換器の胴体フランジ部と周囲の壁の間に右手の指を挟んで負傷しました。診察の結果、右手人差し指に挫創と骨折が確認されました。〕

### ◎定期検査関係

- 1月11日 柏崎刈羽原子力発電所4号機の営業運転再開について  
〔平成18年12月14日から調整運転を続けてまいりましたが、1月11日午後5時、経済産業省立会いの総合負荷性能検査を終了し、営業運転を再開いたしました。〕
- 1月11日 柏崎刈羽原子力発電所7号機の営業運転再開について  
〔平成18年12月5日から調整運転を続けてまいりましたが、1月11日午後5時55分、経済産業省立会いの総合負荷性能検査を終了し、営業運転を再開いたしました。〕

◎その他発電所に係る情報

- ・ 1月23日 柏崎刈羽原子力発電所の累計発電電力量 8,000 億キロワット時の達成について

昭和 60 年 2 月 13 日に 1 号機が試運転による発電を開始してから今年で 22 年目を迎えますが、1 月 23 日午前 8 時頃、当所の累計発電電力量が 8,000 億キロワット時に達しました。このたび達成した累計発電電力量 8,000 億キロワット時は、原油に換算すると日本全体の年間原油輸入量の約 8 割にあたる約 1 億 8,800 万キロリットルに相当し、貴重なエネルギー資源である石油の消費を抑制したことになります。また、この発電電力量をすべて石油火力により発電した場合と比べると、約 5 億 7,600 万トンの CO<sub>2</sub> の排出を抑制したことになり、これは、日本全体の年間 CO<sub>2</sub> 排出量の 5 割弱に相当する量です。

- ・ 1月31日 当社発電設備に関し、電気事業法及び核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律に基づく検査に関するデータ処理における改ざんの有無についての報告の提出について  
〔プレス文添付〕
- ・ 1月31日 新潟県の温排水等漁業調査結果報告書および福島県の温排水調査報告書の点検結果について  
〔プレス文添付〕
- ・ 2月 1日 当社発電設備に関する経済産業省からの指示について  
〔プレス文添付〕

以 上